

# 臨床心理学特論Ⅰ

必修 2単位

森脇 愛子

## 1. 授業の概要(ねらい)

臨床心理学は、心理的な苦悩を抱える人の多様なニーズに対し、それを見立て、心理的な援助や支援をする上で欠かすことのできない、基礎的知識・方法論・技能・倫理を扱った学問領域の総称といえる。

心理実践、心理的支援の対象領域は、保健医療、教育、福祉、司法・矯正、産業など、多岐にわたり、幅広く展開されている。実践も蓄積されている。前半では、心理的アセスメントの役割、アセスメントにとり必要となる精神医学的な理解にかかわる知識や、発達心理学的な理解にかかわる知識、代表的な心理療法を中心に発表・討議を通して学ぶ。後半は、保健医療、福祉、教育、産業、司法・矯正に関わるテーマにおき、文献を調べ、発表・討議する中で、理解を深める。

## 2. 授業の到達目標

臨床心理学について、基本的な知識を学ぶとともに、実践など応用と関連づけて理解を深めることを目標とする。

## 3. 成績評価の方法および基準

発表およびディスカッションへの参加度によって評価する。

## 4. 教科書・参考文献

教科書

適宜紹介する。

参考文献

小川俊樹・倉光修 臨床心理学特論 放送大学教育振興会  
サトウタツヤ・高砂美沙 流れを読む心理学史—世界と日本の心理学— 有斐閣

## 5. 準備学習の内容

発表に際し、複数の文献にあたり、資料を作成し、のぞむことが求められる。

## 6. その他履修上の注意事項

発表には十分な準備をしておくこと。発表者でないときにも、真剣な姿勢で取り組むこと。

この科目は臨床心理学専攻に特化した科目である。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(オンライン)
- 【第2回】 世界と日本の臨床心理学について基礎知識を学ぶ(予定:オンライン)
- 【第3回】 臨床心理学における、専門性・倫理について学ぶ/発表について
- 【第4回】 心理学的アセスメントの役割について
- 【第5回】 臨床心理学関わる専門知識—精神医学等知識を含めた理解の必要性を学ぶ
- 【第6回】 臨床心理学関わる専門知識—発達心理学的理解の必要性について学ぶ
- 【第7回】 心理学的支援に関する代表的アプローチについて学ぶ—精神分析・精神力動的アプローチ、クライエント中心療法についての理解を深める
- 【第8回】 心理学的支援に関する代表的アプローチについて学ぶ—行動療法/認知行動療法についての理解を深める
- 【第9回】 心理学的支援に関する代表的アプローチについて学ぶ—遊戯療法、箱庭療法、森田療法、内観療法など
- 【第10回】 心理学的支援に関する代表的アプローチについて学ぶ—コミュニティアプローチなど
- 【第11回】 各領域における心理的支援について理解を深める(保健医療分野の諸テーマにおき、文献をもとに発表する。)
- 【第12回】 各領域における心理的支援について理解を深める(福祉分野の諸テーマにおき、文献をもとに発表する。)
- 【第13回】 各領域における心理的支援について理解を深める(産業分野の諸テーマにおき、文献を調べ、発表する。)
- 【第14回】 各領域における心理的支援について理解を深める(教育分野の諸テーマにおき、文献を調べ、発表する。)
- 【第15回】 各領域における心理的支援について理解を深める(司法分野の諸テーマにおき、文献を調べ、発表する。)